

# 令和7年度 文京区立昭和小学校 授業改善推進プラン

## 第2学年

教科	指導上の課題の分析⇒	指導の在り方⇒	授業改善の視点
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の考えを友達と伝え合う活動では、自分の意見を言うだけになってしまい、友達の意見に対して話したり、自分の考えについて振り返ったりすることが難しい。</li> <li>○拗音、促音の表記や、助詞「は」「を」「へ」の使い方の理解が不十分である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達の意見を聞き、自分の考えと比べたり、おもしろいと思ったところを伝えたりする活動を他教科や日常生活の中でも取り入れる。</li> <li>○朝学習の時間に拗音や助詞を確認する時間を確保する。他教科の学習でも誤りが見られたらすぐに直させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達の話を聞いた時に、「なるほど。」「私と同じだ。」等、相手の言葉に反応する練習を行い、少しずつ友だちの考えについて感じたことを深く話せるようにしていく。</li> <li>○誤りに気付いたら、その場ですぐに書き直させ、正しい表記ができるように繰り返し指導をする。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題に対し、多様な見方・考え方をすることが難しい児童がいる。</li> <li>○計算の仕方を理解し、正確に計算することに個人差がある。</li> <li>○量の見当をつけたり、測定したりすることが不十分である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題解決の時間を十分に確保する。既習事項を振り返らせることで、自分の考えをもてるようにする。</li> <li>○授業で計算の仕方をおさえた上で、朝学習を有効に活用し、繰り返し計算練習を行わせる。個別に机間指導をする。</li> <li>○日常の事柄と関連させながら指導する。また、学んだことと日常の事柄を相互に行き来した指導をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○数学的な見方・考え方や多様な表現ができるように具体例を示す。小集団で考えを発表し合ったり、他の児童の考えを自分の言葉で発表させたりする。</li> <li>○計算する際に手順を確認してから児童に取り組みせる。必要に応じて具体物や図を用いることで、数の表し方や計算の仕方を捉えられるようにする。</li> <li>○日頃から身の回りにあるものの量に着目させ、日常生活の中で量感を養えるようにする。さらに実測を伴う活動を多く取り入れることで、量や時間の感覚を確かなものにする。</li> </ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>○様々な事柄に興味はあるが、人と関わる経験が少ないため、理解や行動に結び付かない。</li> <li>○身近に自然が少なく、日常的に自然や生き物に触れる機会が少ないため、意識的に関わるのが難しい児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の住んでいる地域について関心を深め、自分との関わりを考えさせる。</li> <li>○校庭や町の中で見つけた虫や植物、四季の変化などを意識的に取り上げ、身近にある自然に気付かせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実際に足を運び、見たり感じたりさせ、愛着をもたせる。また、ICT機器を活用し、地域の様子などについて調べられるようにする。</li> <li>○校庭など、1年間を通して同じ場所で四季の変化を探す活動に取り組みさせ、季節ごとの違いに気付かせたり、町の様子が季節ごとに変化していく様子を捉えさせたりするなど、身近にある自然を活かして活動する。</li> </ul>

音 楽	<p>○鍵盤ハーモニカの演奏技術や運指に個人差が大きい。</p> <p>○鍵盤ハーモニカだけでなく、特殊楽器の扱い方が雑になっている。</p> <p>○それぞれの音、リズム、拍をしっかりと理解できていない児童がいる。</p>	<p>○見本をもとに運指や音を確認し、ゆっくりでも全員が確実に演奏できるように指導する。</p> <p>○楽器の特性や扱い方を理解し、丁寧に扱えるようにする。</p> <p>○正しい座り方、立ち方について指導をする。また、いろいろな音楽に触れることで苦手意識をなくし、積極的に音楽に向き合えるように指導する。</p>	<p>○ペアでお互いの運指を見たり、音を聴き合ったりし、教え合いの活動を取り入れる。</p> <p>○楽器に実際に扱う際に、使い方だけでなく、片付けの方法についても指導をする。</p> <p>○歌う姿勢、演奏する姿勢を常に声を掛け、気を付けられるように指導する。</p>
図 工	<p>○どの題材にも意欲的に楽しんで取り組めるが、最後まで根気よく、丁寧に仕上げることが難しい児童がいる。</p> <p>○のりやはさみ、絵の具など道具の扱い方が十分に習得できていない児童がいる。</p>	<p>○どの程度まで仕上げればよいのか、評価のポイントはどこかなどを明確にし、分かりやすく児童に示す。また、導入では、題材から想像をふくらませる発想や視点を転換できるようにし、イメージを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>○道具を使う活動を多く取り入れ、道具の扱いに慣れるとともに、正しく扱えるように、その都度指導する。</p>	<p>○子供の視点に立って、完成のイメージをより具体的な言葉で伝える。また、根気よく製作している児童のよさを紹介したり、友達同士で作品のよさを見付けたりする活動を行うことで、自分の作品を改善するきっかけになるように指導をする。</p> <p>○活動を始める前に、教師が実際に道具を扱っている様子を見せたり、デジタル教科書などの動画を活用したりして、正しい扱い方が分かるようにする。さらに、扱い方が不十分な児童には、活動中に個別に指導をする。</p>
体 育	<p>○基本的な動き(体のバランスをとる・用具を操作する動きなど)が身に付いていない児童が多い。</p> <p>○運動遊びをする際に、自分でめあてをもって取り組める児童が少ない。</p> <p>○きまりを守り誰とでも仲よく運動したり、健康・安全に留意したりし、意欲的に運動できる児童、そうでない児童の二極化が見られる。</p>	<p>○それぞれの運動遊びの楽しさに触れることを大切にしながら、発達段階や指導内容、体力の状況に十分に留意して行う。</p> <p>○運動遊びをする場や練習の仕方などを自らの力に応じて工夫させたり選択させたりする。</p> <p>○順番やきまりを守り、誰とでも仲よく運動したり、運動をする場所や安全な器具の扱い方に気を付けたりするなど、誰もが意欲的に運動遊びに取り組む態度を培えるようにする。</p>	<p>○授業前半にシグナルランニングを取り入れ、基本的な動きに必要な能力を身に付けてから、主運動に取り組ませる。</p> <p>○児童の実態に応じて運動遊びをする場や用具を複数用意し、児童自らが選択したり工夫したりして、運動ができるようにする。また、自分の活動を振り返る時間を設ける。</p> <p>○きまりやその時間の活動内容を全体で共有し、視覚化する。また、望ましい関わり方を提示することで、児童同士が対話を重ねながら、仲よく安全に運動できるようにする。</p>